まちづくり基本条例検討委員会　第３回会議次第

日時：平成１８年１１月１１日（土）
午前9時３０分
場所：大里行政センター第２会議室

１ 開会

２ あいさつ

３ まちづくり基本条例骨格の検討
・条例に盛り込むポイントの検討

４ 諸連絡
（１）次回会議について
日時　１１月２５日（土）　午前９時から
場所　熊谷市役所３０２会議室
（土曜開庁のため、正面玄関から入れます。）

５ 閉会

まちづくりの方向性の検討

市民参加

- 人の知恵を大切にする
- 市民の意見を政策に反映
- 政策決定過程をわかりやすく提示（説明責任）
- 市民の自治意識を高める
- 出来ることから参加を応援
- 企業の参加

→ 誰もが平等に社会参加できるまち

- 市民の自主性を尊重する
- 市民が活動しやすい環境を整備
- 市民の力がまとまるような拠点づくり
- 市民参加できる仕組みづくり
- 自由に発言できる仕組みづくり

→ 市民が自ら進んで楽しみながら活動するまち

→ 市民が自立したまち

情　報

- 気象台からの情報発信
- 知らせる努力
- ＩＴによる情報発信
- 熊谷市のＰＲ　メディアの活用
- 情報公開
- 点と点をつなげ線にする

- 市民活動グループの情報共有
- 市民の声を行政の各課が共有
- 情報共有と交流
- 住民が直面する課題の情報共有
- 連携・協力して対応

→ すぐ対応できるやさしいまち

地　域

- 伝統行事がたくさんある
- 人や地域のつながり
- 地域の特性をいかしたまちづくり
- コミュニティの核のあるまち
- 地域・地区の交流推進

→ 夢のもてるまち（いつも楽しいまち）

- 事件が多い
- 夜道も安心
- 大雨も大丈夫
- 安全・安心のまちづくり
- バリアフリーのまちづくり

→ 人にやさしいまちづくり

仕組みづくり　―　ネットワークづくり

主　体

- 「新しい公共」の担い手の〝志源〟の存在
- 市民・ＮＰＯのネットワーク
- 地元企業
- 立正大学

→ がんばっている人たちを、市民、企業、行政が応援するまち

- 市民活動グループが多い
- 地域活動支援センターの開設
- ボランティアネットワークの拡充

→ ボランティア団体と行政が連携できるまち

人

- いろいろな分野に高い能力を持った人がいる
- 人材バンクの開設
- 他人を理解する心を持ったまちづくり（人権）
- 熊谷市出身の人材活用

- 子どもの顔が見えない
- 男性はバンカラ女性はしっかり
- 集団より個人
- 謙虚
- 排他的 ⇔人を拒まない
- 閉鎖的
- 批評家が多い

- 人と人とのふれあいが非常に厚い
- 人と人とのふれあいがしやすい
- 一人一人はあったかい
- 人づくり

→ 心の中に豊かさがあるまち

→ 行政（職員）と住民の境が無いまち

→ 人々が親切でやさしいまち

文　化

- 歴史、文化の掘りおこし
- 史跡が多数点在している
- 熊谷寺、星川の活用
- 史跡の保存、観光利用
- 歴史の道を整備し観光資源とする

- 文化的な環境が目立たない
- 美術館、博物館は必要
- 文化施設の拡充
- 公民館活動の充実
- 文化は経済力

- スポーツに理解がある
- スポーツ文化公園

→ 心が潤うまち

まちづくりの方向性の検討

中心市街地

- 個人商店が減少し活気がない
- 空き店舗　　可能性あり
- 中心市街地の活性化
- 活性化の拠点となる商店街
- 歩行者天国
- 駐車場を２時間無料にする
- 人の流れをつくる→活性化する

→ もっと元気なまち にぎわいのあるまち

駅

- 駅周辺に人がいない
- 駅前の印象は薄く、個性がない
- 駅周辺は不健康
- 駅前広場の整備

交　通

- 交通ネットワークが優れている
- 高崎線・新幹線
- 路線バスの充実
- 公共交通網の整備（埼群軌道新線）

自　然

- 荒川・利根川
- 平坦地 歩く、自転車のまち
- 清流になりうる星川
- ムサシトミヨ 桜堤 別府沼公園
- 郊外に美しい自然がたくさんある
- 緑と水の美しい田園都市
- 花いっぱいのまちづくり
- いい意味での田舎を目指す
- 環境保護
- 水に恵まれている
- 夏暑く、　　冬寒い

→ 緑の多い環境の良いまち

シンボルづくり ⇔ 資源・活用

産　業

- 熊谷ブランドの拡充
- 地場産業のＰＲ
- 地産、地消の推進
- 農地の活用
- 首都圏への野菜の供給

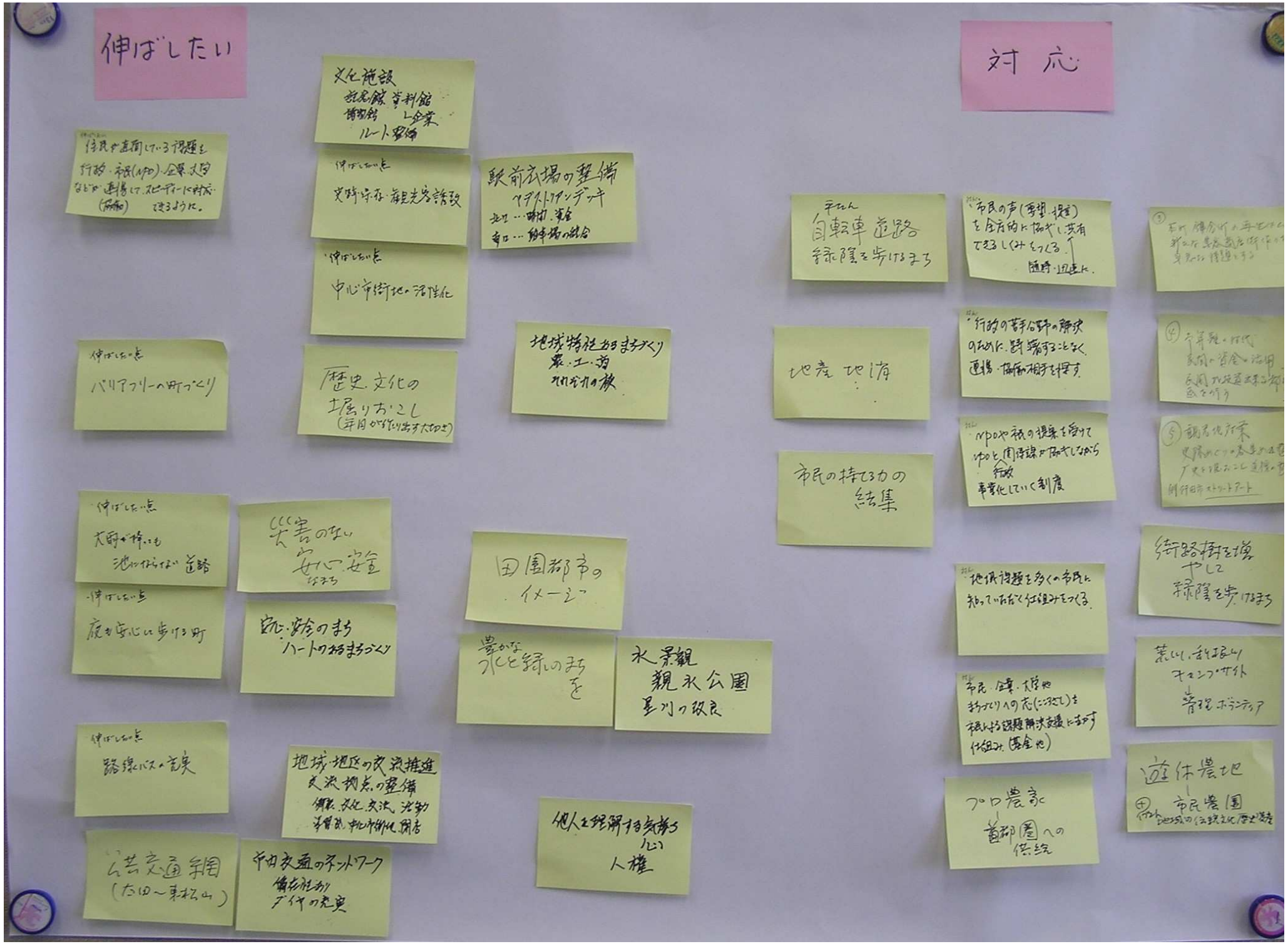
→ 来てくれてありがとうのまちづくり

ま　ち

- 街並みが不統一
- 道路整備に連続性がなく歩きにくい
- 住み続けたいまち
- 人口増加施策
- 夢を持てる 楽しいことがあるまち
- 憧れのまち

→ みんなが住みたいまち

→ 若者が目を付けるまち デートしたくなるまち



伸ばしたい

文化施設
記念館 資料館
博物館 ↳企業
ルート整備

伸ばしたい点
住民が直面している問題を
行政・市民(NPO)・企業・大学
などが連携して、スピーディーに対応
(協働) できるように。

伸ばしたい点
史跡・保存・観光客誘致

駅前広場の整備
ヤデストリアンデッキ
北口…時間、資金
南口…駅前広場の結合

伸ばしたい点
中心市街地の活性化

伸ばしたい点
バリアフリーの町づくり

歴史・文化の
掘りおこし
(年月が作り出す大切さ)

地域特徴あるまちづくり
農・工・商
それぞれの秋

伸ばしたい点
大野が降っても
池にならない道路

災害のない
安心・安全
なまち

伸ばしたい点
夜も安心して歩ける町

安心・安全のまち
ハートのあるまちづくり

田園都市の
イメージ

豊かな
水と緑のまち
を

水景観
親水公園
星川の改良

伸ばしたい点
路線バスの充実

地域・地区の交流推進
交流拠点の整備
[illegible]

他人を理解する気持ち
心
人権

公共交通網
(太田～東松山)

市内交通のネットワーク
[illegible]
ダイヤの充実

対応

平たん
自転車道路
緑陰を歩けるまち

市民の声(要望・提案)
を全方的に協議し共有
できるしくみをつくる
随時・迅速に

地産 地消

行政の苦手分野の解決
のために、跨端することなく
連携・協働相手を探す

NPOや市民の提案を受けて
NPOと行政関係線が協議しながら
事業化していく制度

市民の持てる力の
結集

地域問題を多くの市民に
知っていただく仕組みをつくる

市民・企業・大学他
まちづくりへの志(ニンジさし)を
市民による課題解決支援に当たす
仕組み(基金他)

プロ農家
↓
首都圏への
供給

③ 本町 [illegible]
新たな集成 [illegible]
[illegible]

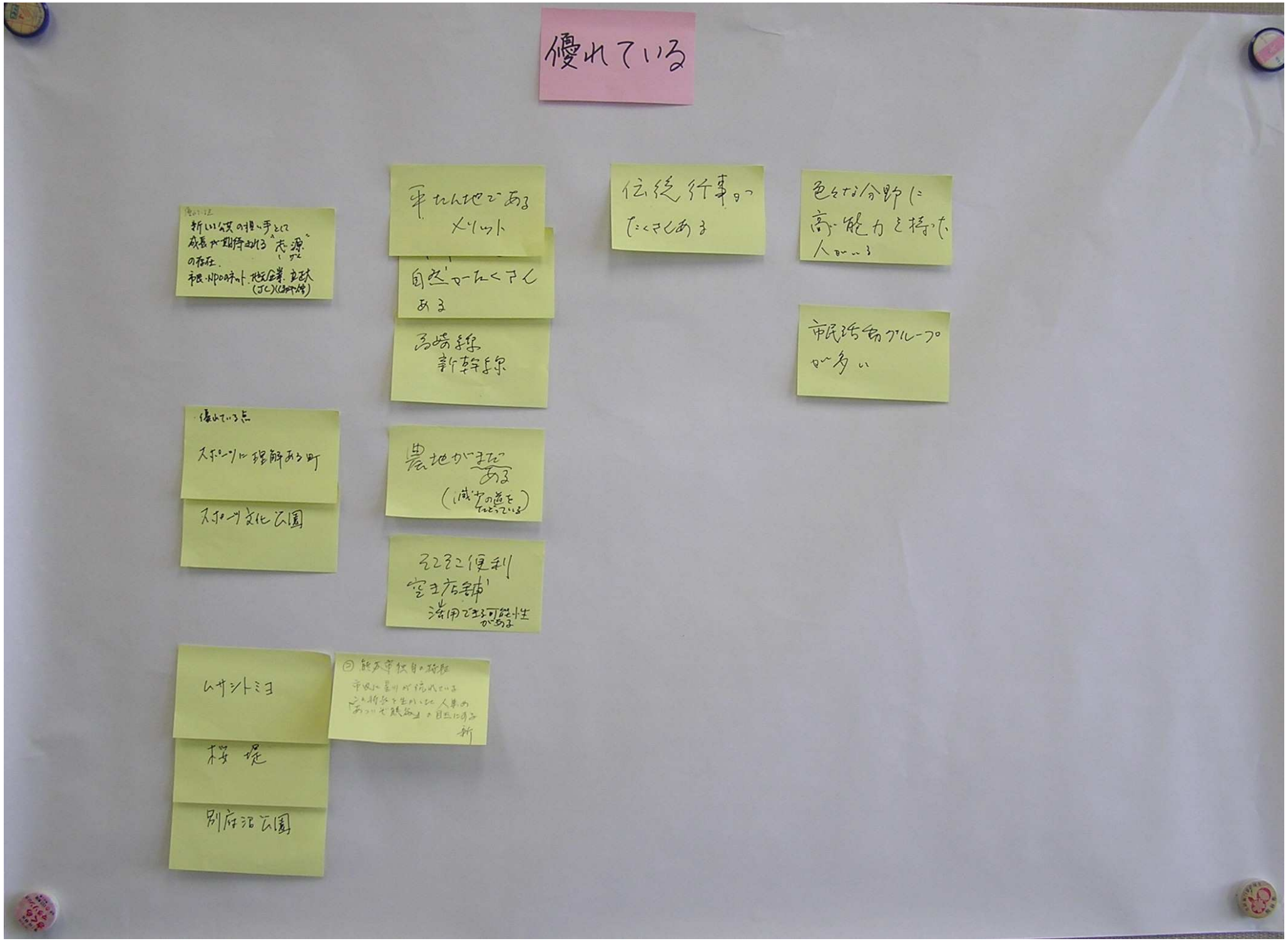
④ 市算題の対代
民間の資金の活用
民間 [illegible]
[illegible]

⑤ 観光化産業
[illegible]
[illegible]
例 行田市 [illegible]

街路樹を増
やして
緑陰を歩けるまち

荒川・新堀川
キャンプサイト
↓
管理ボランティア

遊休農地
↓
市民農園
(十) 行田 地域の伝統文化歴史発表



優れている

優れている点
新しい公共の担い手として
成長が期待される"志源"
の存在.
市民・NPOのネット. 地元企業. 立正大
(JC)(3ヶ所)

平たん地である
メリット

自然がたくさん
ある

高崎線
新幹線

伝統行事が
たくさんある

色々な分野に
高い能力を持った
人がいる

市民活動グループ
が多い

優れている点
スポーツに理解ある町

スポーツ文化公園

農地がまだ
ある
(減少の道をたどっている)

そこそこ便利
空き店舗
活用できる可能性がある

ムサシトミヨ

桜堤

別府沼公園

② 熊本市役目の移転
市役に割りが流れている
この移転を生かした人集め
「あっぱ熊本」の目玉にする
新



目指す

目指すまち
「まち」への志ある
市民・NPO・企業・大学を大切にし、
活動しやすい環境を整備
・実効性のある仕組みを条例に!

どんな
人にやさしい町づくり

花いっぱいの町づくり

誰れでが触れあえる
町造りを目指したい。

市民参加できる仕組

市内・軽車場・
最初の2時間 無料とする
公営、私営を含め
「熊谷市に来てくれて有難う」

夢を持てるまち
↓
いつも楽しいことが
あるまち

① 基本的にどんなまちづくりか
① 商業都市か? ⑤ 居住都市か
② 工業都市か?
③ 学園都市か?
④ 文化都市か?
熊谷市は①の商業都市であろう

人々が親切で
やさしい
緑と水の美しい田園
都市

身近な自然を
大切にすることは
最大の福祉

熊谷に生まれた人が
熊谷に住み続け
たいまち

公民館活動の充実

施設利用の利便性

地元史跡等を、みんな
に見える(分かりやすく)様な
工夫をする。

市内市外の確差
のない事業運営